

芙蓉



社会福祉法人 芙蓉会

<https://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL (0545) 55-1118 FAX (0545) 55-1119

児童養護施設	ひまわり園	☎0545-52-0402	通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎0545-55-1800
地域小規模児童養護施設	ひろみ	☎0545-22-1281	通所介護	ふようデイサービスセンター	☎0545-52-1397
乳児院	恩賜記念みどり園	☎0545-53-5665	居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎0545-52-5500
企業主導型保育施設	さくら保育園	☎0545-55-1118	地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	☎0545-30-8324
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎0545-55-1800	在宅介護支援センター	みぎわ園	☎0545-55-1811
ショートステイ	みぎわ園	☎0545-55-1877	看護小規模多機能	みぎわの里	☎0545-30-7952



創立120周年記念誌編纂に想う

社会福祉法人芙蓉会ひまわり園 園長 種田 賢二

現在、芙蓉会では創立120周年の記念誌制作に向けて準備を進めています。

芙蓉会の前身「富士育児院」を渡辺代吉氏が創設した明治36年は日露戦争勃発の前年であります。それから昭和3年までの25年間、代吉氏は富士育児院と途中から作った養老部を守り続け、その後は妻であるまつ氏が引き継ぎます。戸巻俊一氏は昭和2年に院長補佐として就任、昭和6年にまつ氏が逝去されると俊一氏が3代目院長として「富士育児養老院」の経営を引き継ぎます。経営方針の不一致から一旦は身を引いた俊一氏でしたが、請われて再度経営者として院長の任に就きます。そこから第二次世界大戦に突入していく戦前、戦中、戦後を伴侶であった静代氏（昭和47年逝去）やそのご子息、ご息女、同志の皆様と共に、昭和58年まで職務を全うされました。昭和58年からは俊一氏の長男である戸巻美美夫氏が後を継がれ、児童指導員の時代を含め55年間、職務を全うし引退されました。また、乳児院恩賜記念みどり園においては、静代氏がお亡くなりになった後、昭和48年に内藤順敬氏（内藤好彦 現理事長の御尊父）が就任され、長きにわたり芙蓉会を支え続けられました。

私がひまわり園に児童指導員として入職したのは昭和60年です。戸巻美美夫園長、内藤順敬園長、恵美子姉さん、紀美子姉さん、裕美夫兄さんという、まさに芙蓉会で育った方々や高橋のお姉さん

（昭和43年から保育士として定年後の現在も子どもたちを支えてくださっている）の背中を追いかけながら、振り返れば37年が経ち平成30年に施設長を拝命してからは5年目を迎えました。記念誌編纂に携わりながら、この芙蓉会の歴史の重みを今更ながらに痛切に感じています。どんなに貧しい時代も苦しい時代も使命感（まさに自分の命を使う）をもって、子どもたちを守り続けてきた先人を想う時、「今の自分は何をしているのか、どこに向かおうとしているのか」という疑問や怒りが自分自身に突き刺さってきます。

平成29年に発表された「新しい社会的養育ビジョン」によって、児童養護施設の役割は「小規模かつ地域分散化」「高機能化・多機能化」へと大転換を求められています。県内を見回しても静岡県の子童養護施設を築き上げてきた諸先輩方もお亡くなりになったり、現場を退かれてしまいました。もう「誰かについて行く」という立場や年齢ではなくなってしまったのだと痛感します。今、現場で頑張ってくれている仲間たちと共に、新しい芙蓉会を、新しいひまわり園を作っていかなければならないのだと、120周年記念誌制作と向き合いながら、あらためて想う今日この頃です。

この芙蓉会の歴史を職員や運営に御協力いただいている多くの皆様と共有しながら、更なる発展に向けて歩を進める機会になればと願っています。

★みぎわ園★

春のお習字

何度も練習されて一生懸命取り組まれていました。



たこ焼きパーティー

実はタコが入っていないのですが、チーズ・ソーセージ・シーチキンなど色々な具が入ったたこ焼きです。くるくると回して焼いてソースをかけると香ばしい匂いに皆さん「おいしそう」と笑顔！初めてにしては上手に出来ました。

お花見ドライブ

4月7日、厚原スポーツ公園へお花見ドライブに行ってきました。桜吹雪が舞う中写真を撮りながら楽しい一時を過ごす事が出来ました。遠方の方ともお話が出来、入居者からは笑顔が見られました。



★ふようデイサービスセンター★

～お花見～

桜が咲いたので皆さんで桜を見ました。まだ8分咲きでしたが、今年初めての桜に「わ～、きれい!」や「素敵だね!」と喜ばれていました。皆さんで桜をバックに記念撮影♪やっぱり桜は良いですね。



～季節の作品作り～

ふようデイでは、毎月のカレンダーと壁画を手作りしています。5月の壁画は鯉のぼりです。一人ひとり小さな鯉のぼりを作り、鯉のうろこに見立てて三匹の鯉が泳いでいるような壁画となっています。また持ち帰り作品として、4月は桜飾り、5月は鯉の滝登りも作りました。日々の機能訓練のほかに指の運動にもなっている、ちぎり絵も行っています。



★みぎわの里★



お内裏様・お雛様に変身してお楽しみパシャ! 記念撮影



みぎわの里は今年で7周年を迎えました。「周年祭」では、ヒゲダンスやみぎわの里開設当時の「世の中の出来事クイズ」を行い盛り上がりました。

味噌作り教室

深澤味噌店の店主さんご指導のもと「味噌作り教室」が開催されました。美味しさの秘訣は「愛情を込めて」



「鬼は外、福は内」今年も邪気を払い「無病息災」をお祈りしました。



ぼたもちや今が旬のたけのこで炊き込みご飯を作り季節感を味わいました。



★デイサービスセンターみぎわ園★



兜作り
子供の頃の思い出話をしながら楽しく作りました。



お菓子作り

甘い物が大好きな皆様!チョコチップクッキーとどら焼きを作りました。部屋中に甘い香りが広がりました。



名札作り

立派な木を頂いたので名札作りを行いました。好きな色を選んで絵に塗り世界に1だけの作品が出来ました。



★ひまわり園★



G W の 行 事

白尾山公園に遊びに行きました。久しぶりの公園に途中からの小雨を気にせず思いっきり遊んでいました。



かえで



けやき

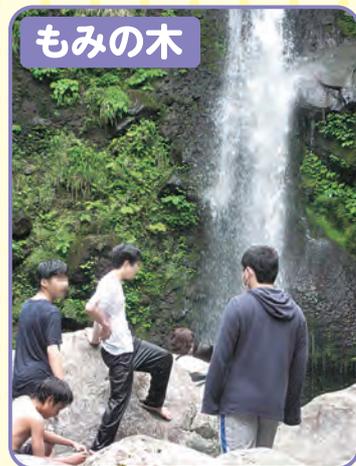
富士宮イオンへ映画を観に行きました。別日には富士宮浅間神社のお祭りに行きました。久しぶりに外出できて子どもたちはニコニコでした。



丸火自然公園でBBQをしました。自然の中での食事やアスレチックを満喫。皆、笑顔が絶えず、気持ちの良い時間を過ごせました。



大地



もみの木



さくら



園内でBBQ。キャンプには行けないので夜はテントでキャンプごっこをしました。

新緑がきらきらしている日、須津川へ行き、バーベキューや川遊びを楽しみました。

★ひろみ★

ひろみの小学生は地域の子ども会に入っています。先日、子ども会でジャガイモ掘りの行事があり、参加しました。大小さまざまなジャガイモが沢山取れて、皆大喜びでした。

子ども会の行事は近隣住民の方と交流出来る良い機会になっています。





おでかけ

富士宮にある田貫湖へドライブに行きました。久しぶりのおでかけで子どもたちはとても楽しそうでした。職員が着いていくので精一杯なくらい、子どもたちは元気に走り回っていました。

お昼はレジャーシートを広げてピクニックをしました。口いっぱい頬張りながらおいしそうに食べていました。

またおでかけ行こうね!



ピクニック
たのしー



こどもの日

大きな鯉のぼりにフィンガーペイントで色をつけ、素敵な鯉のぼりの帽子ができました。その後は外に出て、自分で作った鯉のぼりを被り元気いっぱい走り回りました。

昼食は兜のパイが乗ったカレーライス!「カッコイイ!」と嬉しそうにたくさん食べていました。



じょうずに
できた!



虫歯予防デー

6月4日に虫歯予防デーの製作を行いました。どうぶつと、歯ブラシを作ってどうぶつの歯を磨きました。シールを貼ったり、ハサミを使ったり真剣に取り組んでいました。昼食はカエルのおにぎりにハンバーグ!!みんなご機嫌で食べていました。食べたらしっかり歯磨きをして虫歯にならないようにしましょうね!!



スッキリ
するね~



園庭菜園

みどり園の厨房職員が、園内の花壇で野菜を作っています。

収穫や間引き作業の時には園児たちもお手伝い。野菜への興味が深まります。



おおきく
なったね~



少しずつ

暑さが厳しくなってきました。寒天遊びや水遊びなど、夏ならではの遊びを沢山していきたいと思います。

【法人本部】

新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振り、一昨年から感染症対策を継続しておりましたが先が見えない日々が続きました。ワクチンもほぼ希望する職員には接種が終わりましたが、変異株の出現で、多くの福祉施設にクラスターが発生し、予断を赦さない状況が続いておりました。

当法人でも1月にひまわり園、2月にさくら保育園、3月にみどり園で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出る結果となり、新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化を図ることとなり職員は疲弊状態が続き、一日も早い新型コロナウイルス感染症自体の終息を願う一年となりました。

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は118年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。

今年は、創立120周年に向けて法人の沿革をまとめた記念誌を発刊するべく各施設から編集委員を募り、記念誌編集委員会を立ち上げ活動を開始しました。

さらに、年度当初より職員の採用活動に力を注ぎ、昨年同様マイナビ求人サイトや養成校主催の施設紹介に職員を派遣して新卒学生の求人募集を行って参りました。施設間に差はありますが新卒職員採用がありました。

また、現代の情報収集ツールであるスマートフォンにおいて当法人のホームページが分かりづらいというご意見を頂きホームページのリニューアルを1年掛けて行うためのプロジェクトを開始しました。

最後になりますが、本年度は職員の勤怠管理等について静岡県労働局や、富士労働基準監督署からの指導を受ける事案がありました。この指導を真摯に受け止めて次年度に向けて勤怠管理システムの導入や、飲酒検知システム等の導入計画を進めて、勤務実態の可視化や、適正な労働管理を行うための準備を実施し、より働きやすい職場環境の構築のための事業を進めました。

【児童養護施設 ひまわり園】

2019年12月に中国で初めて報告された「新型コロナウイルス感染症」は、今もお世界的な流行を見せています。また、度重なる株の変異により感染状況も変化しており、集団生活を余儀なくされる施設での生活においては、今もお対応に追われています。様々な情報が入ってくる中で、現場でも何が正解なのか、その判断に悩みながらも奮闘する一年でした。ひまわり園は入所型の施設ではありますが、外部との関わりが多い施設であり感染経路はいくらでもあるので、基本的には自己予防努力が最も重要であることを子どもたちにも伝え続けてきました。我慢ばかりの一年でしたが子どもたちも職員もよく頑張ってもらえたと思います。また、多方面からご支援も頂きながら事業を遂行することが出来ました。

【地域小規模児童養護施設 ひろみ】(ひまわり園加算事業)

令和3年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:令和3年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安

全・安心の確保に努めました。

令和3年度は、小学生1名、中学生2名、高校生1名の4名でスタートとなりました。ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう掛けて支援しました。新型コロナウイルス感染症への対応については、法人や本体施設の感染防止対策に沿って、助言や指示を頂きながら、地域小規模施設として出来る対策を図り、感染予防に努めました。Zoomなどを利用したリモート会議や研修なども積極的に使用しました。中学校3年生2名につきましては、通塾などを通し、学習支援に努めました。結果、本人たちが希望する公立高校へ合格することが出来ました。昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域の行事や活動はほとんど出来ませんでした。職員子ども共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切に、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。

【企業主導型保育事業 さくら保育園】

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で日々感染症対策を徹底しておりましたが、令和4年2月3日に園児1名が38度の発熱、医療機関を受診「新型コロナウイルス感染症の陽性結果」を受け、室内消毒等を行い令和4年2月4日から2月10日まで臨時休園(7日間)とし保育園再開の前日に園児と保育士並びに保護者の陰性が確認でき、11日より保育園再開となりました。

法人の多様な就労形態に対応する就業環境(仕事と子育ての両立)を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に令和2年3月より開設いたしました。

令和3年度は、園児6名でのスタートとなり、5月に育児休業明け職員の園児をお預かりし、7名となりました。内訳としては2歳児が2名、1歳児が4名、0歳児が1名でした。今年度は2歳児の園児2名と1歳児の園児2名が卒園となり、初めての卒園式を行いました

【乳児院 恩賜記念みどり園】

新型コロナウイルスによる感染症の施設内感染が増えており、全国でも施設内でのクラスターが発生した乳児院が増え始めており、関東ブロック内の調査でも57施設中32施設にコロナウイルス陽性者が出ているという報告があります。

乳児院の対象児はマスクの着用等の自衛ができない乳幼児ばかりですので、入所児に陽性者を出さないことが一番の予防策となりますが、入所児の保護者の職場でクラスターが発生したり、職員の親族が通う幼稚園や学校で陽性者が出たりと、コロナウイルスが身近に迫っていると感じずには居られない状況がありました。当園でも、手洗い・うがい・手指消毒、出勤時の体温測定、外出時のマスク着用、感染流行地に行かなければならなかった時の待機期間や、抗原検査の実施などを徹底してはいたのですが、令和4年3月13日に職員に簡易抗原検査で陽性反応が出たという報告を受け、勤務していたユニットの隔離を開始しましたが、入所児童にも感染が広がってしまいました。幸い重傷者が出ずに、3週

間後の4月2日に隔離等の感染対策を解除することができましたが、4月8日に別ユニットから陽性児童が出て、再び感染隔離対策をすることになりました。陽性者は合わせて21名(児童13名、職員9名)いずれも重症化することなく在宅療養で治癒しております。同じ事を繰り返さないように、施設内の感染抑止のため職員に協力を求めています。

昨年12月20日に静岡県健康福祉部こども家庭課による、家庭的養護推進計画の進捗状況に関するヒヤリング時に、当園は平成24年以来、暫定定員が継続していたので、定員を25名に減らして運営を行うための相談を行い、県の了解を得ましたので、定員25名への変更申請を行いました。令和3年度は暫定定員が23名に修正されて事業を実施しました。定員が3名減りましたので措置費が減額されました。また年度当初に3歳以上の年少児が5名在籍していました。発達の遅れや、障害があり措置変更先が見つからない子や、措置変更への保護者の同意が難しい子ども達でしたので、より子ども達の発達状況に即した養育環境の提供を目指し、4歳以上の2名を原田幼稚園の年少組と年中組に通園させました。常勤の公認心理師を心理療法担当職員として配置し、プレイセラピーによる発達の遅れを取り戻すための支援や、小規模ケアの実践を通して、より多くの社会体験させるための手厚い養育環境の構築をすることと、3歳以上の年少児単価という、措置費が大幅に減額される状況や、人件費の増大という相反する課題を抱えながらの運営を強いられました。

令和3年度はコロナウイルス感染症対策の実施をしながら、緊急の保護依頼を断ることなく受け入れましたが、年間の在籍児童数は6,920名、年間の充足率は定員換算で63%、暫定定員23名では82%、前年と比べて22名の減少でした。新規入所児童は前年より2名減の5名、一時保護児童は2名減の9名でしたが、延べ日数665日で、前年の329日より336日増加しています。3月末日の在籍児数は措置児童18名、一時保護児童3名の21名でした。退所児童は4名で、2名が家庭復帰し、1名が児童養護施設等への措置変更、残り1名は特別養子縁組み予定の里親委託でした。富士市からのショートステイの依頼は、8件でした。内訳は、0歳の乳児8名の委託がありました。ショートステイの受け入れ延べ日数は42日となります。職員の人材確保については、人材確保のため法人契約した「マイナビ」を通じたオンライン就職フェアや、静岡県人材センター主催の「就職フェア」にも積極的に参加しましたが、残念ながら予定数の確保には繋がりませんでした。また、コロナウイルス感染症に関する職員養成の園内研修・勉強会を看護師等が積極的に開催してくれたので、18企画の研修会・勉強会が開催することができました。

最後になりますが、1月下旬より施設長の身体状況悪化による病院からのリモートワークとなりましたが、副施設長以下の職員が協力して緊急を要するコロナ対策や入所児のための接遇に尽力してくれたので大きな問題もなく事業が遂行できたことをご報告すると共に、職員一同に感謝します。

【特別養護老人ホーム みぎわ園】

令和3年度の事業報告にあたり、昨年からの新型コロナ感染対策に始まりコロナ感染防止の渦中にある事業年度でありました。

4月の事業開始期は、アルファ株が落ち着き始めて面会制限の解除をとの矢先、

デルタ株とした変異株による感染まん延の事態による非常事態宣言が発令、またも面会の制限となり、年明け1月頃よりは、オミクロン株へと変異したコロナウイルス感染による未曾有の感染流行を観て、まん延防止特別措置法による制限でした。これも延長、延長を繰り返して、今はBA.2なる亜種株での警戒となっています。

この1年間、面会の禁止と解除とをくり返し、これに係る感染防止委員会(13回)、入居者職員向けのワクチン接種(3回完了)と、感染の防止に向けた努力と、含めて職員の葛藤は計り知れない所です。幸いにして老人部門事業所内での感染発症は防止され、保全維持されている事は、ひとえに職員への努力を評価するものです。このような背景の中で、介護ケア上発展したものの一つに、ユニット内でのレク活動への取組みが挙げられます。面会が叶わない中、入居者への思いを汲取り、介護スタッフが思いの工夫を凝らしての創作レク活動は、次に繋がる介護ケアの一つになると思います。(ケーキコンテスト・中庭バーベキュー会・お菓子づくり等々)。加えて、音信を絶やさないとしてユニット新聞、ユニットだより等の発行を始め、ご家族への近況報告として写真を添えて送付する等、新しいレク活動が展開されています。

職員研修に於いては、対面受講の中止が相次ぐ中でリモートでの研修としたインターネット利用の受講が主流となり、Wifi設備と専用ブースを整えての研修スタイルは、次世代型の有り様が展開された一年でもありました。

政府によるコロナ関連補助施策「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」と称して、支援補助金及び介護職員等への給与改善の供与が謳われ、年度末早急での規則改定を進めた所です。ただ介護保険料受益者負担の増額へと繋がるのではないかと懸念はされるところでもあります。このような着かない中でも、日々の介護支援に於いて100歳を迎える入居者、利用者の誕生祝賀会を迎えることができ、長寿日本の実感を感嘆した生活背景もありました。

特養入居系サービスに於いて、今年度は入退居者の多さが特異的で、入所基準介護度3以上として身体的には重度化した入居者、度重なる面会禁止の動きなど、外との関わりが減り、寂しさなどが何やら影響されているのかとも推測される所です。結果として特養の稼働率は、例年にない落ち込みがありました。

反面在宅系サービス、取分けふようデイサービスの稼働実績が高く、職員の努力もあり介護事業全体の安定化に繋がったと思われ、移転に向けての布石は出来つつあります。

設備整備については、省エネを念頭に6年計画のLED照明設備も3F地域交流室エリアを最終に完了しました。エネルギー需要を考慮した時、必要な処置がとれたと思います。介護上の設備として車椅子の機種変更での全面入替え、エアーマット、ベッドアームのL字柵設置など、自立とケア上の支援補助に向けた今世代型へと設備して、より安全で安定した生活備品として用立てています。その他には、経年劣化で危険性あるエレベーターの作動基盤及びドアの修繕、トイレ換気扇の手動化による使い勝手の改善修理、浴槽、給食炊飯器の入替、看板の補修など、コロナ感染対策としては、各玄関口への手指洗浄のための手洗い設備、介護職員用にワンケア・ワンプッシュとして介護手技上での消毒の徹底と備品購入、研修用ブースの設備など予算計上の実行ができました。

令和3年度 社会福祉法人芙蓉会 決算報告

法人単位資金収支計算書 (自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	779,533,000	768,011,918	11,521,082	
	児童福祉事業収入	484,820,000	483,548,046	1,271,954	
	保育事業収入	21,964,000	21,722,491	241,509	
	その他の事業収入	324,000	464,000	△ 140,000	
	借入金利息補助金収入	38,000	38,000	0	
	経常経費寄附金収入	6,093,000	6,069,096	23,904	
	受取利息配当金収入	1,048,000	1,052,380	△ 4,380	
	その他の収入	6,960,000	6,783,050	176,950	
	事業活動収入計(1)	1,300,780,000	1,287,688,981	13,091,019	
支出	人件費支出	933,241,000	939,433,613	△ 6,192,613	
	事業費支出	163,554,000	161,028,723	2,525,277	
	事務費支出	110,622,000	106,850,312	3,771,688	
	利用者負担軽減額	2,794,000	2,749,358	44,642	
	支払利息支出	1,073,000	1,085,779	△ 12,779	
	その他の支出	4,803,000	4,702,222	100,778	
	事業活動支出計(2)	1,216,087,000	1,215,850,007	236,993	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	84,693,000	71,838,974	12,854,026		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	20,493,000	20,615,000	△ 122,000	
	設備資金借入金収入				
	施設整備等収入計(4)	20,493,000	20,615,000	△ 122,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	35,428,000	35,428,000	0	
	固定資産取得支出	17,686,000	17,684,078	1,922	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	627,000	684,288	△ 57,288	
	施設整備等支出計(5)	53,741,000	53,796,366	△ 55,366	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 33,248,000	△ 33,181,366	△ 66,634	
その他の活動による収支	収入				
	長期貸付金回収収入	350,000	315,000	35,000	
	積立資産取崩収入	20,960,000	11,992,206	8,967,794	
	その他の活動による収入	51,000	51,000	0	
	その他の活動収入計(7)	21,361,000	12,358,206	9,002,794	
	支出				
	積立資産支出	72,218,000	62,685,124	9,532,876	
	その他の活動による支出	32,000	256,141	△ 224,141	
	その他の活動支出計(8)	72,250,000	62,941,265	9,308,735	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 50,889,000	△ 50,583,059	△ 305,941	
予備費支出(10)	2,031,000		1,810,000		
	△ 221,000		0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,254,000	△ 11,925,451	10,671,451		
前期末支払資金残高(12)	314,497,573	314,497,573	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	313,243,573	302,572,122	10,671,451		

(注) 予備費支出△221,000円は下記の科目に充当し使用した額である。
雑支出 42,000円、利用者等給食費支出 4,000円
器具及び備品取得支出 119,000円、退職給付引当資産取崩収入 56,000円

法人単位事業活動計算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収入			
	介護保険事業収益	768,011,918	761,429,137	6,582,781
	児童福祉事業収益	483,548,046	499,929,581	△ 16,381,535
	保育事業収益	21,722,491	16,989,436	4,733,055
	その他の事業収益	464,000	1,025,000	△ 561,000
	経常経費寄附金収益	6,069,096	3,534,908	2,534,188
	サービス活動収益計(1)	1,279,815,551	1,282,908,062	△ 3,092,511
	費用			
	人件費	941,140,413	929,071,796	12,068,617
	事業費	161,643,085	154,723,076	6,920,009
事務費	106,850,312	99,172,658	7,677,654	
利用者負担軽減額	2,749,358	3,227,107	△ 477,749	
減価償却費	83,247,334	80,998,137	2,249,197	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 45,413,374	△ 40,748,764	△ 4,664,610	
サービス活動費用計(2)	1,250,217,128	1,226,444,010	23,773,118	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	29,598,423	56,464,052	△ 26,865,629	
サービス活動外増減の部	収入			
	借入金利息補助金収益	38,000	57,000	△ 19,000
	受取利息配当金収益	1,052,380	1,449,326	△ 396,946
	その他のサービス活動外収益	6,783,050	7,671,433	△ 888,383
	サービス活動外収益計(4)	7,873,430	9,177,759	△ 1,304,329
	費用			
	支払利息	1,085,779	1,384,113	△ 298,334
	その他のサービス活動外費用	4,702,222	5,881,445	△ 1,179,223
	サービス活動外費用計(5)	5,788,001	7,265,558	△ 1,477,557
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,085,429	1,912,201	173,228
経常増減差額(7)=(3)+(6)	31,683,852	58,376,253	△ 26,692,401	
特別増減の部	収入			
	施設整備等補助金収益	20,615,000	19,791,800	823,200
	固定資産受贈額	666,600	0	666,600
	その他の特別収益	275,201	972,941	△ 697,740
	特別収益計(8)	21,556,801	20,764,741	792,060
	費用			
	固定資産売却損・処分損	10	9,211	△ 9,201
	国庫補助金等特別積立金積立額	20,615,000	19,791,800	823,200
	その他の特別損失	256,141	0	256,141
	特別費用計(9)	20,871,151	19,801,011	1,070,140
特別増減差額(10)=(8)-(9)	685,650	963,730	△ 278,080	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	32,369,502	59,339,983	△ 26,970,481	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	684,532,970	625,606,201	58,926,769
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	716,902,472	684,946,184	31,956,288
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	11,005,406	64,005,406	△ 53,000,000
	その他の積立金積立額(16)	60,514,724	64,418,620	△ 3,903,896
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	667,393,154	684,532,970	△ 17,139,816	

令和3年度 社会福祉法人芙蓉会 決算報告

法人単位貸借対照表
(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

資 産 の 部			負 債 の 部				
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	342,420,067	353,685,138	△ 11,265,091	流動負債	136,498,233	135,543,873	954,360
現金預金	212,890,455	211,994,285	896,170	事業未払金	25,948,161	26,302,247	△ 354,086
事業未収金	115,981,858	132,387,100	△ 16,405,242	その他の未払金	495,000	0	495,000
未収金	669,574	2,638,095	△ 1,968,521	1年以内返済予定 設備資金借入金	35,428,000	35,428,000	0
未収補助金	12,241,490	6,462,678	5,778,812	1年以内返済予定 リース債務	684,288	684,288	0
貯蔵品	30,000	0	30,000	未払費用	10,857,228	10,523,817	333,411
立替金	4,430	7,920	△ 3,490	預り金	0	5,849	△ 5,849
前払金	418,000	0	418,000	職員預り金	2,432,556	2,225,672	206,884
前払費用	69,260	75,080	△ 5,820	前受収益	0	10,000	△ 10,000
1年以内回収予定 長期貸付金	115,000	120,000	△ 5,000	賞与引当金	60,653,000	60,364,000	289,000
固定資産	2,260,613,608	2,275,645,117	△ 15,031,509	固定負債	131,765,370	166,587,458	△ 34,822,088
基本財産	1,594,699,929	1,647,268,889	△ 52,568,960	設備資金借入金	111,144,000	146,572,000	△ 35,428,000
土地	457,412,898	457,412,898	0	リース債務	741,312	1,425,600	△ 684,288
建物	1,137,287,031	1,189,855,991	△ 52,568,960	退職給付引当金	19,880,058	18,589,858	1,290,200
その他の固定資産	665,913,679	628,376,228	37,537,451	負債の部合計	268,263,603	302,131,331	△ 33,867,728
土地	70,300,166	70,300,166	0	純 資 産 の 部			
建物	5,487,249	6,156,942	△ 669,693	基本金	345,258,921	345,258,921	0
造作	5,647,628	6,325,665	△ 678,037	国庫補助金等特別積立金	828,303,404	853,101,778	△ 24,798,374
構築物	11,198,513	13,374,577	△ 2,176,064	その他の積立金	493,814,593	444,305,275	49,509,318
機械及び装置	9,531,861	11,651,789	△ 2,119,928	人件費積立金	102,500,000	102,500,000	0
車輛運搬具	6,880,188	8,443,260	△ 1,563,072	施設整備等積立金	260,000,000	211,000,000	49,000,000
器具及び備品	29,015,998	33,443,741	△ 4,427,743	施設運営費積立金	82,498,739	82,502,145	△ 3,406
建設仮勘定	495,000	0	495,000	植松茂子奨学積立金	47,815,854	47,303,130	512,724
有形リース資産	1,368,576	2,052,864	△ 684,288	記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0
権利	1,336,918	1,523,464	△ 186,546	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	667,393,154	684,532,970	△ 17,139,816
ソフトウェア	969,260	1,286,594	△ 317,334		32,369,502	59,339,983	△ 26,970,481
投資有価証券	50,000	50,000	0				
長期貸付金	2,931,000	3,251,000	△ 320,000				
退職給付引当資産	19,880,058	18,589,858	1,290,200				
人件費積立資産	102,500,000	102,500,000	0				
施設整備等積立資産	260,000,000	211,000,000	49,000,000				
施設運営費積立資産	82,498,739	82,502,145	△ 3,406				
植松茂子奨学積立資産	47,815,854	47,303,130	512,724				
記念事業積立資産	1,000,000	1,000,000	0				
普通預金	4,983,585	4,983,585	0	純資産の部合計	2,334,770,972	2,327,198,944	7,571,128
差入保証金	180,000	180,000	0	負債及び純資産の部合計	2,603,033,675	2,629,330,275	△ 26,296,600
長期前払費用	1,843,086	2,457,448	△ 614,362				
資産の部合計	2,603,033,675	2,629,330,275	△ 26,296,600				

財産目録
(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的	取得価額	減価償却累計額	取得時原価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有価	-	種別現金として	-	-	341,477
定期預金	富士信用金庫今泉北支店 株	-	種別現金として	-	-	82,687,889
定期預金	富士信用金庫今泉北支店 株	-	種別現金として	-	-	0
定期預金	富士信用金庫今泉北支店 株	-	種別現金として	-	-	129,565,000
小 計						
				-	-	311,994,285
事業未収金						
未収金	未収金手許有価	-	3月分介護報酬等	-	-	132,287,100
未収補助金	国庫補助金等	-	職員給与等	-	-	2,638,095
立替金	特別徴収金	-	特別徴収金	-	-	6,462,678
前払費用	前払費用	-	人件費等、自動車等費用等	-	-	7,920
1年以内回収予定長期貸付金	1年以内回収予定長期貸付金	-	関係者給与等	-	-	75,080
				-	-	120,000
流動資産合計						
				-	-	353,685,138
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地						
(ひのめ園地)	富士市今泉字大字区22200地	-	第1種社会福祉事業である、児童養護施設等に使用している	-	-	162,940,000
(みどり園地)	富士市今泉字大字区21060地	-	第1種社会福祉事業である、乳児院等に使用している	-	-	50,438,350
(ひまわり園地)	富士市今泉字大字区21040地	-	第1種社会福祉事業である、乳児院等に使用している	-	-	331,069,428
小 計						
				-	-	457,412,898
建物						
(ひのめ園地)	富士市今泉字大字区22200地	1996年度	第1種社会福祉事業である、児童養護施設等に使用している	741,734,051	398,664,678	343,069,373
(みどり園地)	富士市今泉字大字区21060地	1976年度	第1種社会福祉事業である、乳児院等に使用している	247,668,270	140,235,817	87,272,453
(ひまわり園地)	富士市今泉字大字区21040地	2003年度	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	1,568,290,707	718,906,542	779,524,163
小 計						
				-	-	1,189,652,911
基本財産合計						
				-	-	1,647,268,889
(2) その他の固定資産						
土地						
(法人本部地)	富士市山田町新緑4街	-	事務用建物用地	-	-	17,231,137
(ひのめ園地)	富士市今泉字大字区21010地	2017年度	第1種社会福祉事業である、児童養護施設等に使用している	21,571,570	-	21,571,570
(みどり園地)	富士市今泉字大字区21010地	2017年度	第1種社会福祉事業である、乳児院等に使用している	21,825,850	-	21,825,850
(ひまわり園地)	富士市今泉字大字区21110地	2018年度	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	9,372,466	-	9,372,466
小 計						
				-	-	50,900,166
建物						
(ひのめ園地)	富士市今泉字大字区22200地	2010年度	第1種社会福祉事業である、児童養護施設等に使用している	1,751,590	926,884	824,706
(みどり園地)	富士市今泉字大字区21060地	2009年度	公益事業である、老人介護支援事業等に使用している	12,828,300	7,197,624	5,630,676
小 計						
				-	-	6,455,382
遊具						
遊具	福祉包括支援センター交遊工事	-	公益事業である、地域包括支援センター事業に使用している	12,484,566	6,135,822	6,348,744
構築物	器具103他	-	人用児童遊具等	44,474,964	31,400,989	13,073,975
機械及び装置	家用用電気機器他	-	災害・停電等時の家用用電気機器	14,759,259	3,407,461	11,351,798
車輛運搬具	日産キャラバン他30台	-	利用者送迎用	35,637,528	27,214,268	8,423,260
新築及び増築	特殊清掃機4台他	-	特殊清掃機	114,268,581	111,124,839	3,143,742
有形リース資産	アラブ防太・福祉用消毒タイプ・ペダマシンの80枚	-	利用有価借入金でペダマシンの使用している	3,421,446	1,368,076	2,053,370
権利	特許付「芙蓉会」及び「ロープワーク機他機他	-	社会福祉法人事業に使用	-	-	1,523,464
ソフトウェア	コンピューターシステム研究用	-	介護保険請求ソフト他	-	-	1,286,594
投資有価証券	富士信用金庫出資金	-	特約の指定がない	-	-	50,000
長期貸付金	児童養護施設(ひのめ園)児童	-	人送学費用の貸付	-	-	3,251,000
退職給付引当資産	職員給与引当資産	-	職員給与引当資産	-	-	18,589,858
人件費積立資産	定期預金 静岡銀行今泉北支店他	-	人件費に使用	-	-	102,500,000
施設整備等積立資産	定期預金 富士信用金庫今泉北支店他	-	施設整備(建築、建物維持管理等)に使用	-	-	211,000,000
施設運営費積立資産	公営公債 野村證券野村支店他	-	施設運営に使用	-	-	82,502,145
植松茂子奨学積立資産	公営公債 野村證券野村支店他	-	児童養護施設(ひのめ園)児童の人送学費用等に使用	-	-	47,303,130
記念事業積立資産	定期預金 富士信用金庫今泉北支店	-	特別徴収(公益施設)事業に使用することを目的としている	-	-	1,000,000
普通預金(使用制限あり)	富士信用金庫今泉北支店 株	-	親族により一般預金として使用することを目的としている	-	-	4,983,585
差入保証金	セコム他	-	防犯・火災保険非常通報装置保証金他	-	-	180,000
長期前払費用	火災保険料他	-	建物火災保険料他	-	-	2,457,448
その他の固定資産合計						
				-	-	628,376,228
固定資産合計						
				-	-	2,275,645,117
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未収金						
1年以内返済予定リース債務	リース債務	-	リース債務	-	-	36,302,247
未払費用	特別徴収金	-	特別徴収金	-	-	35,428,000
預り金	職員給与金	-	職員給与金	-	-	684,288
職員預り金	職員預り金	-	職員預り金	-	-	10,523,817
前受収益	前受収益	-	前受収益	-	-	5,849
賞与引当金	賞与引当金	-	賞与引当金	-	-	2,225,672
流動負債合計						
				-	-	110,000
2 固定負債						
設備資金借入金						
リース債務	リース債務	-	リース債務	-	-	146,572,000
退職給付引当金	退職給付引当金	-	退職給付引当金	-	-	1,425,600
固定負債合計						
				-	-	148,000
負債合計						
				-	-	148,000
純資産合計						
				-	-	2,327,198,944

※令和3年度事業・決算報告は、紙面の都合上縮小して掲載しています。事業・決算報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。

ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

- 丸山正
- 八木勇人
- 渋谷美友貴
- 心Reborn協会
- 勝又洋子
- (株)シードコーポレーション
- (株)RMG COO 太田祐輔
- 杉山和利
- 美濃部みどり
- 長井晶子
- 海野洋子
- スズケン労働組合東海支部
- 小泉産業(株)ブランド推進グループ
- 西尾友博
- 大山芳博
- インフォカート(株)代表取締役 下岡靖宜
- 静岡第一テレビ
- YAMADA PANDA COMPANY

(R4.3.2~6.10)

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 個人会費 1口 1,000円 会社 団体会員 1口 3,000円

振込先 (郵便局振替口座)

・口座番号 00880-0-2423 ・口座名称 芙蓉会后援会

何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行
店名 O八九店
預金種目 当座
口座番号 0002423
口座名義 フヨウカイコウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます次第でございます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
口座番号 0817169
口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
リジチョウ ナイトウヨシヒコ

首安箱

ひまわり園

●中高校生より

内容：高校入学前にはスマホを持ちたい。

→対応：現在中高生種の会という話し合いの場でスマホについて子どもたちの中で意見を出し合い、職員・園長はその意見を元に話し合いをしています。

●小学生通学路に住む方より

内容：玄関の花をむしっていた。それらしい子に声を掛けたが「知らない」と言われた。

→対応：該当児童がすぐに判明したため話を聞き、謝罪に伺いました。

●保護者の方より

内容：授業参観に行きたい。

→対応：ひまわり園では通常参観をご遠慮いただいておりますが、家庭引き取りを目指しているご家庭だったため、参観していただきました。

●小学生通学路に住む方より

内容：自宅前で男の子が転んだ。駆け付けた職員の対応が雑ではないか。

→対応：対応した職員から直接のお詫びと経過の報告をいたしました。

編集後記

「芙蓉」77号を最後までお読みいただき、ありがとうございます。

表紙の写真は、主に当法人の職員が撮った写真を、選別して掲載しております。今回の写真はいかがでしょう。じゃがいも掘りに招待された時の一枚です。新型コロナウイルスの影響で、何かと行動が制限されておりますが、子ども達には、色々な経験をしてもらいたいものです。皆さまの方でも、もし良い写真がございましたら、当法人の広報誌編集委員会までお声掛け下さい。